

先進地(現地)調査報告書

平成 31年 1月 31日

玉名市議会

議長 中尾 嘉男 様

氏名 嶋村 徹



下記のとおり、先進地(現地)調査を行いましたので報告します。

調査議員	1. 田畑久吉 2. 森川和博 3. 赤松英康 (敬称略)
日時	平成 31年 1月 21日(月)~平成 31年 1月 23日(水) 午前 08時 00分 ~ 午後 17時 30分
調査先	1. 宮城県岩沼市議会 2. 宮城県東松島市議会
調査先面会者	(岩沼市議会) 議会事務局) [REDACTED] (東松島市議会) 副議長) [REDACTED]
概要及び所見	<p>■平成31年1月21日(岩沼市公設商売市場跡地の活用に関し視察)</p> <p>その1)地域社会活動、地域コミュニティ形成支援施設について</p> <p>市では、まち・ひと・しごと創成総合戦略(H29.3改定)に基づき、JR岩沼駅近隣公設商売市場跡地を活用し、市民活動サポートセンターによる支援機能とネットワーク作りの為の交流機能が一体となった施設「地域社会活動、地域コミュニティ形成支援施設」の整備を進められており、この施設がまちづくりの諸活動を行う様々な主体が気軽に集い、地域の活性化や岩沼の魅力を発信する場所となるよう、H29年1月23日から8回にわたり検討を重ねられる。</p> <p>平成29年4月24日「建物レイアウトや機能等に関すること」について中間報告を行い、その後、視察や懇談の結果を踏まえ、建物の管理運営に関する事について検討される。</p> <p>1. 建物のレイアウトや機能に関する基本的な考え方(検討結果)</p> <ul style="list-style-type: none">・まちを明るく、人々が気軽に集える場所・未来に向けて、岩沼の魅力を発信する場所・共に創る「まちづくり」が出来る場所 <p>2. 管理運営等に関する検討結果(管理、運営等の基本イメージ)</p> <p>基本的な考え方に挙げた3つの場所として活用する為には、現在、市民活動サポートセンターの機能を確保しつつ、地域のコミュニティ活動の拠点として機能させていく必要があり、将来的には、ひとつの手法として、“民間組織による運営体が管理、運営等を行う”事が望ましいとの事。</p>

<p>概要及び所見</p>	<p>(続き)</p> <p>その2)市営亀塚第一住宅用地を活用した地方創成の取り組みについて</p> <p>平成29年12月22日に岩沼市営亀塚第一住宅跡地貸付対象事業者選定委員会にて、書類審査、応募事業者によるプレゼンテーション及びヒアリングが実施され、その結果、応募事業者が1社(者)であり、委員6名による評価点の平均60点を上回った為、公益社団法人青年海外協力協会を貸付候補として選定された。</p> <p>■平成31年1月22日 東松島市 宮城オルレ奥松島コース整備について研修 (東松島市議会 副議長により挨拶をうけ、商工観光課 大久政信氏が説明)</p> <p>観光客入込が、東日本大震災前のH22年で1,123,233人に対して、現在では61.1%まで回復との事であり、平成26年に策定した(H27年～H36)観光客入込数を中間年次のH31で700,000人、最終年次のH36で1,100,000人を目標値としている。</p> <p>コースについては、特別名所 松島及び県立自然公園にも指定されており、豊かな事前景観とマッチし、素晴らしい奥松島コースである。 玉名市に於いては、小岱山コースの設定が考えられ、検討する必要がある。</p>
---------------	--



H31.1.21 宮城県岩沼市



H31.1.22 宮城県東松島市